

相生デイサービス新聞

発行所
相生DS
44-4165

ひばり高くさえずる

畦道のぬかるみを気にしながらも、春の散歩は楽しいものです。麦の色も濃くなってきました。

足音におどろいたのか、不意にひばりが空高く舞いあがりました。

名句
摘草や
よそにも見ゆる母娘

太
祇



早春の棚田



今が旬!
菜の花

春の訪れを感じさせてくれる、可愛い黄色い花が特徴の菜の花。ビタミンB1・B2、ビタミンC、βカロテン、鉄、カルシウムなどの栄養素をバランス良く含む、非常に優秀な緑黄色野菜です。買う時は、つぼみがしっかり閉じていて、切り口が瑞々しい鮮やかな緑色のものを選びましょう。

切るのはどち
さくら or うめ

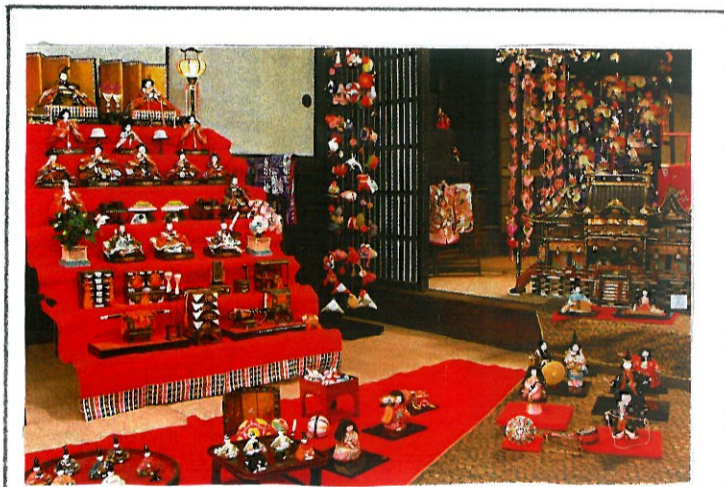
桜は切つてはダメ。切り口がなかなかふさがらず菌が入る。梅は切つても腐りにくく、萌芽力旺盛。湿み合う枝を切る。

— 今月の予定 —

※ 24 (木) 音楽(小林様)
14 (月) バイキング
16 (水) 藤美会
14 (月) 習字
4 (金) 新舞踊(上村様)
3 (木) よさこいポパイ

ニリンソウ

床屋さん
7(月)
16(水)
24(木)



月あかりをつけまよ
ぼんぼりに

頭の体操
とちぎの旅

温泉
とらふぐ
神橋
湯治
和紙
益子町
日光
那珂川町
鳥山
板室温泉

思い出の名画

哀しい踊子の太鼓
が伊豆の山々に...



「落ちていたリンゴをもとに」
「落ちていたリンゴをもとに」
「おい、何をしてる」
子供は
ゆっくりと答えた。
「おい、何をしてる」
リンゴの木に登ってリンゴをひとつ。そこに持ち主が
「おい、何をしてる」
子供は
ゆっくりと答えた。
「おい、何をしてる」
リンゴの木に登ってリンゴをひとつ。そこに持ち主が

天声珍語
酔うこと
泥の如し
立ち上がることもままならず。
別離のさびしさはこうして飲む以外にない。送別会は終わった。花束を胸にそのひとは去って行った。遠ざかる背に「元気ぞ」の思いをおくる。おぼつかぬ足取りで店を出た。日は、まだ空にあつた。沈丁花の香りが漂っている。
今日は、酔ったようだ。霞んだ地平線が上下に揺れた。
ススム